



誰にも相談できません

みんなのなやみ ぼくのこたえ

高橋 源一郎 著



毎日新聞出版
定価：1,400円（税別）

コロナ禍で自粛生活が強いられている昨今、持て余した時間を読書に費やした方も多いのではないのでしょうか？ かくいう私もその1人で、今回

はそんな自粛期間に読んで、とても面白かった本を皆さんにご紹介しようと思います。

その本は、テレビのコメンテーターとしても有名な、小説家の高橋源一郎さんが書かれた「誰にも相談できません みんなのなやみ ぼくのこたえ」です。この本は、読者からの相談を高橋源一郎さんが答える形で、毎日新聞に掲載された「人生相談」から100本を選んで、まとめた物です。

私の「人生相談」の欄を読むのをとても楽しみにしていたのですが、今回それがまとまって本になるとの事でしたので、早速買ってみる事にしました。さて、この本に載っている読者からの「人生相談」ですが、その内容は実にさまざまです。例えば、「夫の全てに悪寒が走る」や「片付けられない夫、世話が嫌になる」といった相談は、「これって自分の事では？」と思いたくなるような相談内容で、その回答はとても参考になりました。また、

その他の相談も私たちの身近にありそうな相談です。そして、その高橋さんの回答がまた面白く、通常は相談者の身になって、擁護したり慰めたりする回答が多い人生相談の中で、この本では、相談者自身に問題がある場合は、ズバリその点を躊躇なく指摘している点が、他の人生相談と違って大変面白く感じました。

私たち医療従事者は、患者さんの診療にあたり、患者さんと医学的な相談だけでなく、いろいろな相談を受ける事も少なくありません。コロナウイルス感染症がまだ収束がみえない現在、今後、この類いの相談が増えてくると思われます。高橋さんの回答が、必ずしも正解というわけではありませんが、ぜひ、ご一読をお勧めいたします。

(みやき町 今村 洋二)